

## 平成22年3月期 第3四半期決算短信

平成22年2月9日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 河合楽器製作所

コード番号 7952 URL <http://www.kawai.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 河合 弘隆

問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部副部長

(氏名) 丸山 孝

TEL 053-457-1227

四半期報告書提出予定日 平成22年2月12日

配当支払開始予定日

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成22年3月期第3四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年12月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第3四半期	40,588	17.9	1,710	36.3	1,563	282.2	1,251	987.8
21年3月期第3四半期	49,443		1,255		409		115	

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第3四半期	14.63	
21年3月期第3四半期	1.35	

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第3四半期	37,346	12,362	33.1	144.54
21年3月期	36,978	11,016	29.8	128.80

(参考) 自己資本 22年3月期第3四半期 12,362百万円 21年3月期 11,016百万円

## 2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期		0.00		1.50	1.50
22年3月期		0.00			
22年3月期 (予想)				2.50	2.50

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 有

## 3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	55,000	10.7	1,700	152.2	1,400		800		9.35

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無  
新規 社 (社名 ) 除外 社 (社名 )
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有  
詳細は4ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)  
会計基準等の改正に伴う変更 無  
以外の変更 無
- (4) 発行済株式数(普通株式)
- |                    |             |             |             |             |
|--------------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| 期末発行済株式数(自己株式を含む)  | 22年3月期第3四半期 | 85,610,608株 | 21年3月期      | 85,610,608株 |
| 期末自己株式数            | 22年3月期第3四半期 | 82,490株     | 21年3月期      | 81,303株     |
| 期中平均株式数(四半期連結累計期間) | 22年3月期第3四半期 | 85,528,785株 | 21年3月期第3四半期 | 85,533,491株 |

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報や事業計画等をもとに判断したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。なお、業績予想に関する事項につきましては、4ページ【定性的情報・財務諸表等】 3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

## 【定性的情報・財務諸表等】

### 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間の当社グループの売上高は、楽器事業と素材加工事業の売上高の減少により40,588百万円(前年同期比8,855百万円減)となりました。このうち、国内売上高は29,917百万円(前年同期比4,947百万円減)、海外売上高は円高の影響もあり、10,670百万円(前年同期比3,909百万円減)となりました。

損益につきましては、人件費を含むあらゆる経費の削減を強力に推進するとともに、教育関連事業における経費効率の改善などにより、営業利益は1,710百万円(前年同期比455百万円増益)となりました。また、前年同期に比べ、為替の動向が想定される範囲内で推移したことにより、経常利益は1,563百万円(前年同期比1,154百万円増益)となり、四半期純利益は1,251百万円(前年同期比1,136百万円増益)となりました。

事業セグメント毎の状況は、楽器事業は、中国市場においてピアノの販売が増加しましたが、北米市場および欧州市場の景気後退による販売の減少と国内販売の減少により、売上高は18,915百万円(前年同期比4,700百万円減)となり、営業利益は231百万円(前年同期比409百万円減益)となりました。

教育関連事業は、音楽教室および体育教室の生徒数減少により、売上高は13,569百万円(前年同期比911百万円減)となりましたが、生徒募集方法の効率化など経費圧縮に努め、営業利益1,241百万円(前年同期比748百万円増益)となりました。

素材加工事業は、素材単価の下落および受注量の減少などにより、売上高は6,136百万円(前年同期比3,139百万円減)となりましたが、経費の削減もあり、営業利益は429百万円(前年同期比9百万円増益)となりました。

情報関連事業は、OA機器の販売減少により、売上高は1,811百万円(前年同期比54百万円減)となり、営業損失は30百万円(前年同期比36百万円改善)となりました。その他事業の売上高は156百万円(前年同期比50百万円減)、営業利益は9百万円(前年同期比27百万円改善)となりました。

所在地別セグメントの状況は、日本は、楽器事業と素材加工事業の売上高の減少により、売上高は33,237百万円(前年同期比6,328百万円減)となりましたが、人件費および経費の削減などにより、営業利益は1,784百万円(前年同期比1,181百万円増益)となりました。

北米は、景気減速による市場縮小により、売上高は3,188百万円(前年同期比2,139百万円減)となり、営業利益は105百万円(前年同期比225百万円減益)となりました。

欧州は、円高ユーロ安の影響もあり、売上高は1,682百万円(前年同期比370百万円減)となり、営業利益は12百万円(前年同期比105百万円減益)となりました。

その他地域は、中国市場のピアノ販売は増加しましたが、豪州市場の販売減少により、売上高は2,478百万円(前年同期比19百万円減)となりましたが、経費の削減により、営業利益は265百万円(前年同期比13百万円増益)となりました。

### 2. 連結財政状態に関する定性的情報

#### (1) 資産、負債、純資産に関する分析

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、売掛金の増加や有形固定資産の増加などにより、37,346百万円(前期末比368百万円増加)となりました。負債合計は、未払金の減少などがあり、24,984百万円(前期末比978百万円減少)となりました。

純資産合計は、12,362百万円(前期末比1,346百万円増加)となりました。

(2) キャッシュ・フローに関する分析

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、5,566百万円(前期末比1,003百万円増加)となりました。当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は、以下のとおりです。

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益の増加やたな卸資産の減少などにより3,129百万円の資金の増加となり、投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出などにより1,747百万円の資金の減少となり、財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入金の返済による支出や短期借入金の減少などにより431百万円の資金の減少となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における業績の進捗状況等を勘案し、平成21年11月10日に公表いたしました平成22年3月期の通期連結累計期間の業績予想の修正と配当予想の修正を公表いたしました。詳しくは、本日(平成22年2月9日)公表いたしました「業績予想の修正および配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(簡便な会計処理)

たな卸資産の評価方法

当第3四半期連結会計期間末のたな卸高の算出に関しては、実地たな卸を省略し、第2四半期連結会計期間末の実地たな卸高を基礎として、合理的な方法により算出する方法によっております。

原価差異の配賦方法

予定価格等を適用しているために原価差異が生じた場合、当該原価差異のたな卸資産と売上原価への配賦を年度決算と比較して簡便的に実施する方法によっております。

法人税等並びに繰延税金資産の算定方法

法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度以降に経営環境や一時差異等の発生状況に判断の変更を要する程度の著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理)

該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 【四半期連結財務諸表】  
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,078	5,265
受取手形及び売掛金	4,471	3,634
有価証券	130	50
商品及び製品	3,701	4,031
仕掛品	1,253	1,349
原材料及び貯蔵品	1,193	1,577
その他	1,150	1,126
貸倒引当金	△316	△270
流動資産合計	17,661	16,764
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,591	5,168
機械装置及び運搬具(純額)	1,977	2,163
土地	6,031	6,029
その他(純額)	1,552	1,675
有形固定資産合計	15,153	15,037
無形固定資産		
投資その他の資産	1,248	1,419
投資その他の資産		
繰延税金資産	427	543
その他	2,981	3,341
貸倒引当金	△125	△128
投資その他の資産合計	3,282	3,756
固定資産合計	19,684	20,213
資産合計	37,346	36,978
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,427	2,464
短期借入金	4,016	4,474
1年内償還予定の社債	225	225
未払法人税等	241	225
賞与引当金	199	876
製品保証引当金	56	50
拠点統合引当金	74	110
その他	3,644	5,348
流動負債合計	11,886	13,775
固定負債		
社債	225	337
長期借入金	4,102	3,383
退職給付引当金	7,760	7,209
その他	1,010	1,256
固定負債合計	13,097	12,187
負債合計	24,984	25,962

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,609	6,609
資本剰余金	744	744
利益剰余金	6,140	5,016
自己株式	△13	△13
株主資本合計	13,481	12,358
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	138	155
為替換算調整勘定	△1,257	△1,497
評価・換算差額等合計	△1,119	△1,341
純資産合計	12,362	11,016
負債純資産合計	37,346	36,978

(2) 【四半期連結損益計算書】  
 【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
売上高	49,443	40,588
売上原価	36,645	29,924
割賦販売未実現利益戻入額	0	0
売上総利益	12,798	10,664
販売費及び一般管理費		
給料手当及び賞与	4,892	3,785
賞与引当金繰入額	143	112
退職給付引当金繰入額	392	363
その他	6,115	4,691
販売費及び一般管理費合計	11,543	8,953
営業利益	1,255	1,710
営業外収益		
受取利息	25	—
受取配当金	10	—
固定資産賃貸料	55	44
為替差益	—	36
持分法による投資利益	31	40
その他	78	110
営業外収益合計	200	232
営業外費用		
支払利息	182	181
為替差損	669	—
その他	195	198
営業外費用合計	1,046	379
経常利益	409	1,563
特別利益		
固定資産売却益	0	—
貸倒引当金戻入額	40	14
補助金収入	—	100
その他	3	2
特別利益合計	43	116
特別損失		
固定資産除却損	39	19
投資有価証券評価損	3	—
特別損失合計	42	19
税金等調整前四半期純利益	410	1,660
法人税、住民税及び事業税	233	271
法人税等調整額	60	137
法人税等合計	294	409
四半期純利益	115	1,251

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	410	1,660
減価償却費	1,315	1,331
長期前払費用償却額	16	17
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△11	45
退職給付引当金の増減額(△は減少)	690	551
拠点統合引当金の増減額(△は減少)	—	△35
受取利息及び受取配当金	△35	△26
支払利息	182	181
持分法による投資損益(△は益)	△31	△40
固定資産除却損	39	19
投資有価証券売却損益(△は益)	△0	—
投資有価証券評価損益(△は益)	3	—
売上債権の増減額(△は増加)	596	△900
たな卸資産の増減額(△は増加)	△11	878
仕入債務の増減額(△は減少)	△511	991
未払退職金の増減額(△は減少)	—	△1,034
その他	△582	△313
小計	2,071	3,327
法人税等の支払額	△556	△198
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,515	3,129
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の増減額(△は増加)	△423	196
有価証券の売却による収入	—	50
有形固定資産の取得による支出	△1,312	△2,058
有形固定資産の売却による収入	14	11
投資有価証券の取得による支出	△2	△8
投資有価証券の売却による収入	0	—
利息及び配当金の受取額	45	24
長期前払費用の取得による支出	△29	△6
その他	42	43
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,665	△1,747
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	990	△838
リース債務の返済による支出	△84	△65
長期借入れによる収入	1,000	2,200
長期借入金の返済による支出	△1,501	△1,114
社債の償還による支出	△112	△112
配当金の支払額	△423	△127
自己株式の取得による支出	△1	△0
利息の支払額	△177	△179
設備関係割賦債務の返済による支出	△187	△192
財務活動によるキャッシュ・フロー	△498	△431
現金及び現金同等物に係る換算差額	△308	53
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△956	1,003
現金及び現金同等物の期首残高	4,814	4,562
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,858	5,566

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年12月31日) (単位:百万円)

	楽器事業	教育関連事業	素材加工事業	情報関連事業	その他の事業	計	消去又は 全社	連結
売上高								
(1) 外部顧客に対する売上高	23,615	14,480	9,275	1,865	206	49,443	-	49,443
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	17	-	-	133	320	471	(471)	-
計	23,633	14,480	9,275	1,998	527	49,914	(471)	49,443
営業利益又は営業損失( )	640	493	420	66	18	1,469	(214)	1,255

当第3四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年12月31日) (単位:百万円)

	楽器事業	教育関連事業	素材加工事業	情報関連事業	その他の事業	計	消去又は 全社	連結
売上高								
(1) 外部顧客に対する売上高	18,915	13,569	6,136	1,811	156	40,588	-	40,588
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	4	0	-	294	250	548	(548)	-
計	18,919	13,569	6,136	2,105	406	41,137	(548)	40,588
営業利益又は営業損失( )	231	1,241	429	30	9	1,881	(170)	1,710

(注) 1. 事業区分の方法

事業区分は製品の種類、製造方法、販売市場の類似性を考慮して区分しております。

2. 各事業区分の主要製品等

事業区分	主要製品等
楽器事業	ピアノ、電子楽器、管弦打楽器、楽器付属品、楽器玩具、楽器調律・修理
教育関連事業	音楽・体育教室、教材販売、楽譜、音楽教育用ソフト
素材加工事業	電子電気部品用金属材料加工、自動車部品用材料加工、防音室・音響部材
情報関連事業	O A 機器販売・保守及びコンピュータソフトウェアの販売
その他の事業	金融関連事業、保険代理店事業、その他

【所在地別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年12月31日) (単位:百万円)

	日本	北米	欧州	その他	計	消去又は 全社	連結
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	39,565	5,327	2,052	2,497	49,443	-	49,443
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	4,680	4	23	2,694	7,402	(7,402)	-
計	44,245	5,331	2,075	5,192	56,846	(7,402)	49,443
営業利益	603	330	117	252	1,302	(47)	1,255

当第3四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年12月31日) (単位:百万円)

	日本	北米	欧州	その他	計	消去又は 全社	連結
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	33,237	3,188	1,682	2,478	40,588	-	40,588
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	3,472	1	26	2,512	6,012	(6,012)	-
計	36,709	3,190	1,709	4,990	46,600	(6,012)	40,588
営業利益	1,784	105	12	265	2,169	(458)	1,710

(注) 1. 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2. 日本以外の区分に属する国又は地域

(1) 北米……………アメリカ、カナダ

(2) 欧州……………ドイツ

(3) その他……………オーストラリア、ニュージーランド、インドネシア、中国

【海外売上高】

前第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年12月31日) (単位:百万円)

	北米	その他	計
・ 海外売上高	6,798	7,780	14,579
・ 連結売上高			49,443
・ 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	13.8	15.7	29.5

当第3四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年12月31日) (単位:百万円)

	北米	その他	計
・ 海外売上高	3,990	6,680	10,670
・ 連結売上高			40,588
・ 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	9.8	16.5	26.3

(注) 1. 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2. 日本以外の区分に属する国又は地域

(1) 北米……………アメリカ、カナダ

(2) その他……………欧州、中国、オーストラリア、東アジア、東南アジア、その他

3. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。